

# 今後の進め方について（案）

平成31年2月18日

経済産業省

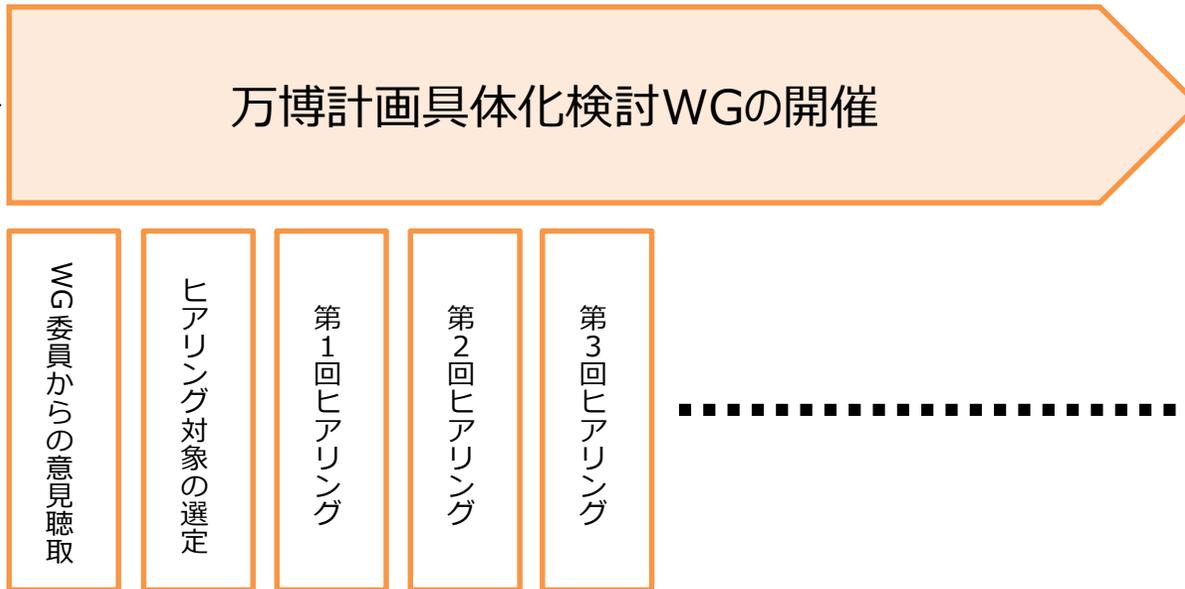
# 今後の進め方について（案）

- 各論点に通じた専門家に対するヒアリング等を実施する。
- その結果を検討会委員に対して報告する。また、2020年5月までにBIEに対して提出する、登録申請書の作成に活用していく。
- 今後のWGにおける問題提起・議論に基づき、柔軟に議事運営を行う。

2019年  
1月

大阪・関西万博具体化検討会

検討を指示



※ 月2回程度のペースで開催予定。大阪開催も検討。

2019年  
夏頃

検討会委員への報告

ヒアリング結果を活用

2019年  
12月（目標）

登録申請書の提出

# WGにおいて議論を深めていただきたい論点（案）

- 大阪・関西万博具体化検討会で提起された主な論点は以下の通り。

## 1. テーマの具体化

- 「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマの下、具体的にどのような課題設定をし、どのような成果（レガシー）を得ることを目指すのか。
- 万博開催経験の豊富な国として、万博に新たな付加価値を提供することが期待される中、どのような切り口で、どのような取組を行っていくのか。
- 2030年SDGsの達成に向けて、万博の場をどのように活用し、どのような解決策を得ることを目指すのか。また、万博での成果を2030年にどうつなげていくのか。
- 万博の機会を活かして、どのように経済活性化を図るか。特に、大阪・関西はライフサイエンス分野における研究開発の先進地域であり、その強みをどう活かすのか。
- 「未来社会の実験場」として、どのような分野で実証を行い、どのような成果を得ることを目指す場とするのか。（例：モビリティ、都市計画、医療、環境分野） 他

## 2. 会場・輸送計画の具体化

- テーマの具体化に向けた議論を踏まえ、どのように会場計画を具体化していくか。
- 来場者にとって快適な空間とするために、どのような工夫が必要か。 他

## ヒアリング対象と考えられる有識者の属性（案）

- 学問的視点から、万博のあるべき姿について議論できる学術有識者
- テーマ・コンセプトを深め、魅力的な万博にするために、多様なアイデアが期待できるクリエイター・アーティスト
- テーマにおける「いのち輝く」という観点や、大阪・関西のライフサイエンス分野企業等との連携について議論できるライフサイエンス・ヘルスケア有識者
- SDGs達成に向けた万博との連携や、SDGsの現状、国連での取り組みについて知見のある方
- テーマ実現のための会場、来場者にとって快適かつ魅力的な会場にするために、建築の視点で議論できる専門家
- 2025年より先の未来での実現を目指し、万博での実証が期待される最先端技術についての専門家
- 2025年において活躍が期待され、今後の未来を担う、学生などの若い世代を代表する方
- 海外の視点から、大阪・関西万博への期待を語るができる外国の方
- 万博開催を待望する、各分野で活躍する著名人

## (参考) 鍵となる質問

- ◆今という時代に「万博」に期待することは？
- ◆2025年大阪・関西万博で示すべき、世界の未来像（2XXX年？）は？
- ◆あなたが考える「いのち輝く」とは何か？
- ◆テーマ（課題）をどのように会場で実現するか？
- ◆「レガシー」として残すべきものは？

※ 上記の質問を突破口に、論点に通じるそれぞれの専門分野について、意見を聴取する。

## **(参考) 大阪・関西万博の概要**

# 大阪・関西万博の概要

## 1. テーマ・サブテーマ・コンセプト

テーマ : **いのち輝く未来社会のデザイン**  
“Designing Future Society for Our Lives”  
サブテーマ : 多様で心身ともに健康な生き方  
持続可能な社会・経済システム  
真の豊かさを感じられる生き方、それを可能にする経済・社会の  
未来像を参加者で共に創る。  
コンセプト : 未来社会の実験場 “People’s Living Lab”

## 2. 基本事項

- ①開催場所  
ゆめしま  
**夢洲（大阪市臨海部）**
- ②開催期間  
**2025年**  
**5/3～11/3(185日間)**
- ③入場者(想定)  
**約2,800万人**
- ④会場建設費(想定)  
**約1,250億円**
- ⑤経済波及効果（試算値）  
**2.0兆円（建設費約0.4兆円 運営費約0.5兆円 消費支出約1.1兆円）**  
万博開幕までに行われる周辺インフラ整備及びその2次波及効果を含めれば約5.8兆円



## 名称

◆日本語（正式）：2025年日本国際博覧会  
同（略称）：大阪・関西万博

◆英語：EXPO2025, OSAKA, KANSAI, JAPAN

## 主なスケジュール

【2018年】

12月21日 : 国際博覧会担当大臣の任命  
関係閣僚会議の設置及び開催

【2019年】

1月25日 : 大阪・関西万博具体化検討会開催  
1月30日 : 博覧会協会の設立総会  
2月8日 : 万博特措法案の閣議決定  
年内 : 登録申請書のBIEへの提出（目標）

2020年6月 : BIE総会（登録申請書の承認（目標）  
→ 参加招請の開始）

10月～2021年4月 : ドバイ万博  
（参加招請の実施）

2025年5月～11月 : 大阪・関西万博開催

# 大阪・関西万博における3つのポイント

## 1. SDGsの達成に向けた万博

- 誘致に際して、Society 5.0を鍵としたSDGs（持続可能な開発目標）達成（目標年2030年）への貢献という訴えが国際的に高く評価された。
- そのため、Society 5.0に向けた成長戦略を一層加速化させるとともに、途上国を含めた多くの参加国と共に創る万博とすること（Co-creation）が重要。

## 2. 未来社会の実験場として

- 万博を、新たなアイデアが続々と生み出され、社会実装に向けて試行される「未来社会の実験場」とする。
- そのため、実験的なプロジェクトを推進する仕組みを設けるとともに、国内外の新たな人材を登用するなど、イノベーションの創出に向けた工夫をこらすことが重要。

## 3. 地域経済活性化の起爆剤に

- 万博は、日本の魅力を世界に発信する絶好の機会。
- 開催地である大阪・関西のみならず、日本各地を訪れる観光客を増大させ、地域経済が活性化する「起爆剤」とする。

# 会場計画の概要

- ポロノイパターン（※）を用いた、あえて中心をつくらない分散型の会場デザイン。個と個の関係、多様性の中から生まれる調和と共創によって形成される未来社会を表現。
- 会場内の5カ所に「空」（くう）と呼ばれる大広場を設置。



（※）ポロノイパターン:自然界に存在する基本的で反復的な幾何学パターン。有機的なつながりと成長を象徴。